

議事録（議事要旨）【第4回委員会】

- 1 日時：令和4年3月24日（木）15時～17時
- 2 場所：第一本庁舎 10階 203会議室
- 3 議題：＜議題1＞第3回委員会における質疑事項
＜議題2＞生物付着状況について
＜議題3＞各対策の評価の取りまとめ
＜議題4＞コースロープ等の水上競技設備について
- 4 出席者：原猛也委員長、眞道幸司委員、小島隆志委員
柏原弘幸委員、久野健一郎委員
- 5 議事要旨

＜第3回委員会における質疑事項＞

- 被覆カバーを巻いた状態の消波装置の測定結果について事務局から説明。
被覆なし・・・反射波を7割低減
被覆あり・・・反射波を6割低減

＜生物付着状況について＞

- 消波装置の沈下量(実測値)と清掃頻度について事務局から説明。
(委員からの主な意見)
- 清掃頻度は、今後の管理の中で見直せば良い。

＜各対策の評価の取りまとめ＞

- 事務局から、冬季評価を踏まえ作成した比較表（案）を説明。
(委員からの主な意見)
- 事務局の評価（比較表）は妥当。
- 被覆カバー案（全周）については、安全性・作業性の問題もあり生物が付着した状態での再装着は困難。脱着時は新品と交換、または清掃が必要。

- 吊上げ案については、4週毎に1週間干出する方法は付着対策として有効だが、付着生物を完全にへい死させるためには、冬季などの競技が無い期間を利用し、長期間（1か月以上）干出させると良い。

<コースロープ等の水上競技設備について>

- 事務局から、コースロープ、滑車、インアウトポンツーンの生物付着について説明。

（委員からの主な意見）

- コースロープ、滑車については、定期的に清掃・交換を行うと良い。塗料等によって、その間隔を空けることができるかもしれない。
- インアウトポンツーンについては、定期的な清掃を行うと良い。

<その他>

- 今回の委員会の評価を踏まえ、競技団体と協議を行う。
- 当初、委員会は4回までとしていたが、令和4年度に再度委員会を開催し、協議結果を踏まえ議論する。

以上